

第1回都市計画説明会（原案説明） 意見・質問とその回答（とりまとめ）

日時：令和2年10月30日（金） 19時～
令和2年10月31日（土） 15時～
会場：島根県民会館 3階 大会議室

意見・質問		回答
■ これまでの経緯について		
1	意見交換会や説明会を多数実施したということであるが、その意見が反映されているのか。丁寧な説明をしているのか。	平成24年度から意見交換会や説明会等を実施し、話し合いを重ね、道路計画を作成しています。 引き続き、地域の皆様に対して丁寧な説明を行いながら進めてまいります。
■ 道路計画について		
1	(道路建設により洪水のリスクが高まるなど)沿線の住民の命を脅かすような道路計画にはして欲しくない。	大雨時の影響等については、事業着手後の詳細設計時において、最新の基準や知見に基づき検討していきたいと考えています。
2	中央帯は設置しないということだが、ポストコーンやワイヤーロープ等の設置は考えていないのか。	自動車専用道路ではなく一般道路として計画していることから、中央帯は設置しない計画としています。併せて、緊急時には緊急車両がスムーズに追い越せるよう設置しない計画としています。
3	乗り降り箇所について、災害が起こると自動車が集中すると思うが、平面交差点方式で車を安全に誘導できるのか疑問がある。 平常時の交通量で道路構造を決めているようだが、災害時に安全に避難できるような災害時の集中する交通量で道路構造を決めるべきではないか。	現在、平面交差で計画している乗り降り箇所について、平常時は平面交差でスムーズな交通が可能であると考えております。
4	災害時に信号は機能しないはずである。そのような事態を想定した上で計画すべきである。立体交差であれば、交差点での混乱も生じないのではないか。	
■ 環境への影響について		
1	生活環境の変化が非常に不安である。どういった検討をしているのか。	松江北道路計画に伴う周囲の環境（騒音・振動等）への影響については、学識経験者からなる「松江北道路環境影響評価検討会」にて環境影響評価を行い、必要な箇所には環境保全措置を実施することとしています。 また、今後も事業の実施段階に応じて生活環境への影響に対し、配慮してまいります。
■ 事業の必要性について		
1	松江だんだん道路が整備されて山陰道に直結することが可能となり、大変便利となった。松江北道路もぜひ整備すべきである。	早期に事業効果の発現ができるよう努めてまいります。
2	松江北道路の整備により、市内の交通が便利になると思う。	
3	松江北道路を整備しなくても、既存の道路で松江だんだん道路へ行く時間は変わらないのではないか。	松江北道路を利用することにより、松江市北西部から山陰道までのアクセスが10分程度短縮されると見込んでいます。
4	地球環境の変化、コロナウイルスの蔓延など社会情勢が変わっていく中で、従来のように道路をつくるのが大事なのか。	松江北道路は、将来交通量の予測を行ったうえで計画しており、市街地へ流入する交通の分散に伴う渋滞の緩和、災害時の迂回路機能の確保、山陰道等へのアクセス向上など、地域振興・防災の両面から必要な道路であると考えています。
5	人間の利便性を追求するのではなく、自然環境を大切にすべき。	整備にあたっては、できる限り自然環境への影響を低減するよう努めます。 なお、松江北道路計画に伴う周囲の自然環境への影響については、学識経験者からなる「松江北道路環境影響評価検討会」にて環境影響評価を行っており、必要な箇所には環境保全措置を実施することにより影響が低減・最小化できることを確認しています。
■ 都市計画について		
1	松江北道路について、都市計画として指定する範囲はどのようになるのか。	松江北道路本線をつくるために必要な範囲を指定します。